

幼稚園の中で好きなところは？ —子どもの視点から園環境を考える試み—

中島 寿子・山口 雅史*

What is Your Favorite Thing in Kindergarten?: A Study on Kindergarten Environment from the View of Children

Hisako NAKASHIMA and Masafumi YAMAGUCHI*

Abstract

We investigated a kindergarten environment from the view of children by using pictures of favorite things in kindergarten taken by children themselves two times. The research proved the fact that all the children took pictures of animals and plants and that a consistent result among these children suggested one's individuality of preference and perception, on the other hand that inconsistent results reflected the changes in play or seasons. From these results we reconsidered the kindergarten environment by letting children take pictures as a study method.

Key words: young children, kindergarten environment, taking pictures

1 問題と目的

子どもの視点から環境を考える試みは様々な研究分野で行われているが、それらの中に子ども自身による写真撮影を取り入れた研究がある。この方法を提唱した文化精神医学者の野田(1988)は、子ども達にフィルムを渡し、彼らによって撮影された「一日の生活および好きなモノ」と撮影日の行動記録メモをもとに、彼らの内面世界を探った。

地理学的視点からこの方法を取り入れた研究もある。例えば小学生を対象とした寺本ら(寺本・大西、1995)は、子ども達が自分の住む町をどのように知覚しているのかについて、彼らがインスタントカメラで撮影した「好きなところ」「好きなもの」及び「嫌いなところ」「嫌いなもの」の写真とコメントを手描き地図と併用して分析している。

建築学の研究者によってもこの方法は取り入れられているが、中でも藤田(2001)は園児の興味を引

き出す物理的要因を明らかにすることを目的とし、幼稚園において研究を行っている。園内で「自分の好きなところ」をインスタントカメラで撮影してもらい、その撮影対象と撮影理由をインタビューしたのである。その結果、園児自身の写真撮影は、事前に撮影方法を教授すれば十分可能であり、園児が撮影理由に挙げた内容からも、その意識を反映していると結論した。この研究からは園環境を考える上で多くの示唆が得られるが、園環境を物的環境に限定して検討したものである。そこで本研究では園環境を物的環境に限定せずに検討したい。目的は以下の二つである。

・「幼稚園の中で好きなところ」の写真撮影をもとに、子どもがどのように園環境をとらえているのかについて検討する。その際には、撮影対象と撮影理由のインタビューに加えて、写真撮影時の子どもの様子も観察する。そして、保育観察や保育者との話し合いをもとに、その子どもの園生活と

* 愛知教育大学幼児教育講座

も関連させながら考察する。

- ・子どもによる写真撮影の研究方法としての有効性についても検討する。

2 調査 1

2-1 方法

(1) 対象児 A 大学附属幼稚園 年長2クラス (黄組・白組) の男女各1名、計4名。

この園には調査者2名が日頃から訪問し、保育観察や園内研究会にも参加している。

対象児の抽出にあたっては、調査者の教示を理解し、撮影とその後のインタビューへの協力が可能と考えられる子どもを調査者と保育者が相談して決定した。今回は普段の保育の中で無理のない範囲で行うことを第一に考え、年長2クラスの男女各1名ずつとした。

(2) 調査日 2001年6月11日(月) 6月21日(木)

進級して保育室等の環境が変わった後、園生活にも慣れてきた時期である。

(3) 調査の手続き

午前の好きな遊びをしている時間帯に、調査者が対象児に「幼稚園の中で好きなところ」をインスタントカメラで10枚程度撮影するように頼んだ。対象児が園内を撮影する間、調査者も同行してその様子を観察し、撮影対象や好きな理由についてのインタビューもした。調査は黄組の2名を山口が、白組の2名を中島が担当した。

その10日後の同じ時間帯に、対象児に撮影した写真を見せながら、撮影対象や好きな理由について再度インタビューした。結果が写真撮影時と同じであるか確かめるため、また写真撮影時のインタビューで十分に聞き取りができなかった部分を補うためである。

2-2 結果と考察

藤田(2001)を参考に、各対象児の撮影対象を8カテゴリーに分類して表1~4にまとめた。「理由等」は、2回目のインタビューで初めて言及した内容等については斜体で記載した。各対象児の撮影地点については図1~4にまとめた。表・図ともに撮影順も合わせて記載した。

(1) A子(黄組・女兒、表1・図1参照)

カメラを持つとすぐにまず近くにいた友達を撮り(①)、そして隣のクラスの妹(②)を撮った。取り敢えずという気持ちで撮ったようである。

【自然物】飼育小屋へ行き、最初にウサギを撮ろうとしたがいなかったため、隣の小屋の鶏(④)を撮った(写真1)。さらに移動してピオトープのメダカ(⑤)、職員室前のウサギ(⑥)を撮り、再び飼育小屋に戻ってアヒルを撮った(⑦)。明確な意図を持って動いていることが窺われ、生き物を見に行く際のA子の動線を反映したものと考えられる。「鶏の女の子」は「大事だから」、「ウサちゃんかわいい」、「バーバーさん。みんなでそう付けたの」と言い、アヒルが散歩したり涼しい場所で昼寝する様子も詳しく話した。

担任によると、アヒルやウサギの餌を刻んで与える活動にも積極的に参加しているそうで、野莓(③)の撮影の際にも「四つ葉のクローバー。ウサギ食べる」と話していた。

【プレイスカルプチャー】砂場にあるプレイスカルプチャーに「日当たりがいいな」と言いつつ登り、辺りを見渡して園庭(⑨)、そしてそこにいる友達(⑩)を撮影した(写真2)。ここを気に入っているようで、後のインタビューでも「上は日当たりがいいから、下は涼しいから」と答えている。確かに日差しが強い日でもこの中は涼しく、外からも見えにくいので、遊びにも打ち込みやすくなっている。

仙田(1995)は子どもの好きな空間として、潜り込むことができる「穴的形状の空間」、登って辺りが見渡せる「塔的形状(丘的形状)の空間」、どろどろなって遊べる「泥的形状の空間」を挙げているが、ここはそれらを兼ね備えていると言えよう。好きな理由に高いところから見渡せることがあることは、藤田(2001)も指摘している。

【暗い道】撮影はしなかったが、A子は調査者を連れて「暗い道」と呼ぶ抜け道を通った。この道は附幼の森の中を抜けて生垣の隙間をくぐり、隣接する小学校の敷地内にある高床式倉庫の階段裏を通り、再び他の生垣の隙間から園庭の雑草園側(③)の撮影地点付近)に出るルートである。「あんまりみんな行かない」「内緒の道」で、「怖くない」が「嫌い。気味悪い」と言う。

寺本ら(1995)は、暗い、汚い、怖い等の負のイメージを持つ場所が遊び場の中に存在すること、寺本が「子ども道」と呼ぶ子どもだけが使用する道や「秘密基地」等の秘密の場所を持つことが多いこと

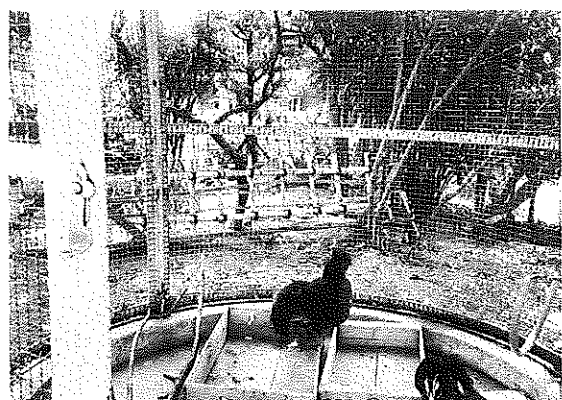


写真1 A子④「鶏の女の子撮った」

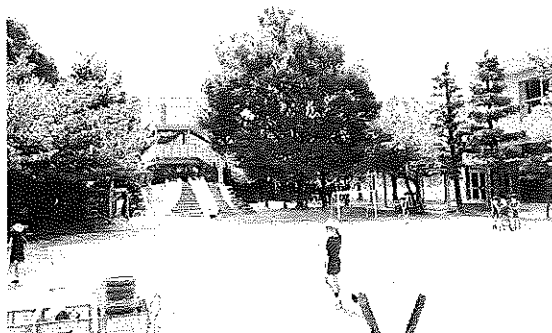


写真2 A子⑩「Miちゃん達撮っちゃおう」

表1 A子(黄組・女兒)の調査1における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	⑨園庭 「日当たりがいいな」
固定遊具	
遊具	
製作物	
自然物	③雑草園の野苺 草をかきわけて指し、摘んで下に置き撮る。「四葉のクローバー、ウサギ食べる」 ④飼育小屋の鶏 「鶏の女の子撮った。(ポーズをとり) こうしてるところを撮った」「大事だから」 ⑤ピオトープのメダカ 「ほら、あれ撮った」 ⑥職員室前のウサギ 「ウサギ、ウサちゃん可愛い」 ⑦飼育小屋のアヒル 「パーパーさん、みんなでそう付けたの」 ⑧雑草園近くのプランターの花 「お花撮った」
遊び	
人	①Yu男(黄組) 「Yu君を撮った」 ②妹Ma子(赤組) 「Maを撮った」 ⑩Mi子達(黄組) 「Miちゃん達撮っちゃおう」
その他	

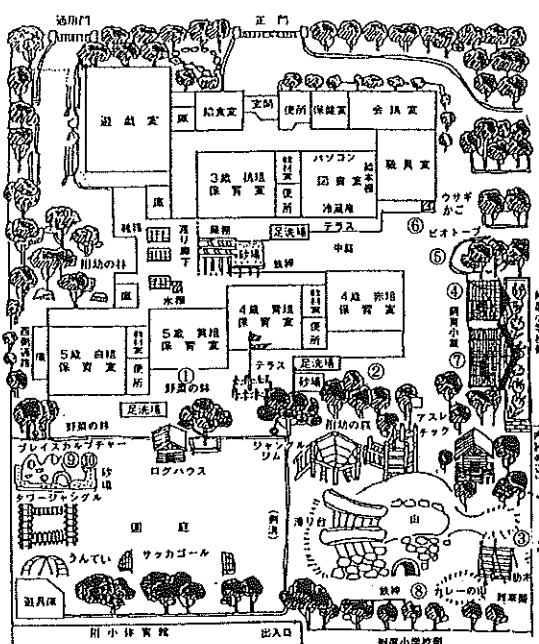


図1 A子(黄組・女兒)の調査1における撮影地点

を指摘している。A子の結果からもこれらの要素が見て取れる。

(2) B男(黄組・男児、表2・図2参照)

初めは「好きなところ全然ない」と恥ずかしそうにしていたが、ふと保育室の外にある鉄棒に目をやり、撮影を始めた。

【連鎖式の撮影】最初に撮影した中庭鉄棒(①)の所から、中庭のプランターを見てそこへ移動して撮影し(②)、またすぐ近くのプランター(③④)を撮影するというように、前の撮影場所から目に入った場所を次の撮影場所として選んでいた。上履きだったこともあってか、4名の中で一番狭い範囲での撮影となった。

【自然物】B男も生き物の撮影が多い。中庭のプラ

ンター(②③④)は「蝶々がいるから」、地面は「ダンゴ虫いる」から(写真3)というように、虫への興味が場の意味づけに大きく寄与しているようだ。また、附幼の林の巣箱(⑩)は「お父さんと一緒に作った」と言う。藤田(2001)でも、子ども達が自ら制作したモノ・場を多く撮影していたが、この巣箱は保護者と一緒に作って設置したために余計に愛着があるのかも知れない。また、「まだ来ない」が「小鳥が来る」かも知れないという期待を持って眺める物でもあるようだ(写真4)。

【好きな遊びができるもの】それを用いて遊ぶことが好きなコンピューター(⑦)や、「いろいろ作って遊ぶ」ことができるゲームボックス(⑨⑩)や大型積木(⑫)も撮影した。

幼稚園の中で好きなところは？

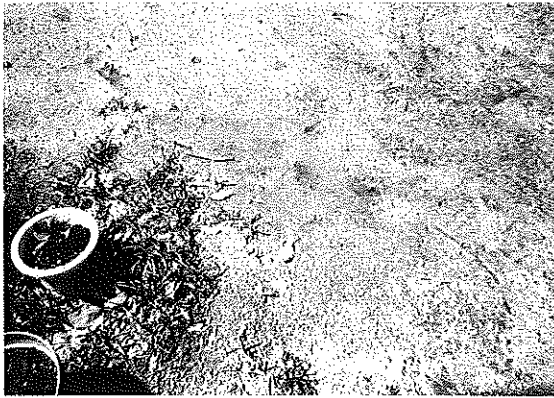


写真3 B男⑥「あそこら辺好き。ダンゴ虫いる、土の所」

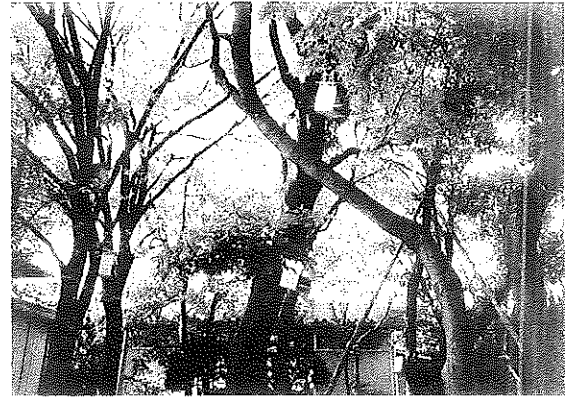


写真4 B男⑩「小鳥とかが来るから。まだ来ないけどね」

表2 B男(黄組・男児)の調査1における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	
固定遊具	①中庭の鉄棒 「鉄棒、回るのが好き。コウモリもできる」
遊具	⑦図書室のコンピュータ 「コンピューターで遊ぶ」 ⑧図書室の絵本棚 「絵本も好き」 ⑨⑩遊戯室のゲームボックス 「四角いやつが好き。何とかボックスって言うの」 「いろいろ作って遊ぶ、お家とか作る」 ⑫遊戯室の大型積木 「いい物作れる。橋とか」
製作物	⑪附幼の木の巣箱 「鳥とかが来るから」「お父さんと一緒に作った」 「小鳥が来るから。まだ来ないけどね」
自然物	②③④中庭のプランター 「蝶々がいるから」 「あそこも蝶々がいる」「あそこも」 ⑤アゲハ蝶 「僕ね、アゲハ捕まえてみたかったんだ」 しばらく遊び、「これも撮ろう」 ⑥中庭の地面 「あそこら辺好き。ダンゴ虫いる、土の所」
遊び	
人	
その他	

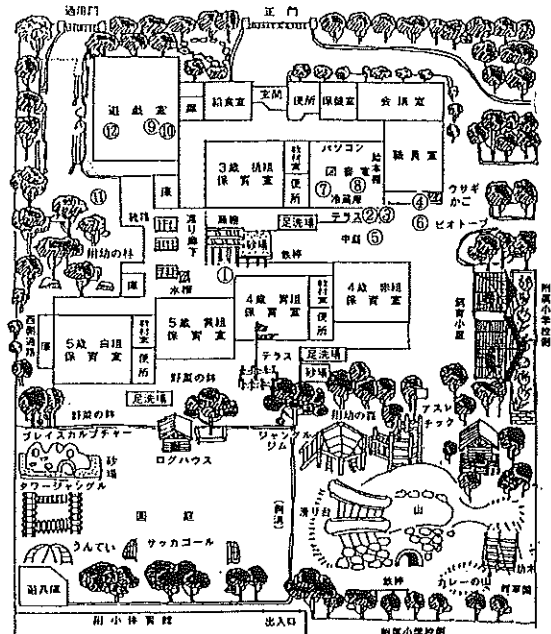


図2 B男(黄組・男児)の調査1における撮影地点

(3) C子(白組・女児、表3・図3参照)

C子は「大人が人のこと撮ったりするから」と、人の立ち姿(⑩)やツーショット(⑱)等を撮ろうとし、「写真を撮る」ということをかなり意識して撮影した。

【遊びの楽しさ・賑わい感】最初は目についた好きな遊びや固定遊具等を撮っていたようだが、「全部好きだもん」と迷った後、遊んでいる年中児達に目をとめて「みんなが遊んでるところ撮ってもいい？」と聞き、「おもしろそう」(⑥)、「楽しそう」(⑩)だからと子ども達が集まって遊ぶ様子を撮った。遊びの楽しさや賑わい感を撮ろうとしていたようだ。

【人への関心】「桃組へ行ってもいい？」と聞き、年少桃組の子ども達が遊ぶ様子も撮った(⑭⑮⑰)。「かわいいから」と言う(写真5)。担任によると、この頃C子はよく桃組へ行ってお世話を焼くようになったという。そのため「好きなところ」として思い浮かんだのだろう。そして、「最後はお部屋だな」と言って白組保育室へ戻った時には、日頃からよく喧嘩をしている男児が遊んでいると「あの人がいるから撮りたくない」と言い、保育室に貼ってあった自分の絵(⑳)を撮った。

C子にとっては、何をするとところかよりも、誰がいるところかの方が、場を意味づける上で大きな意

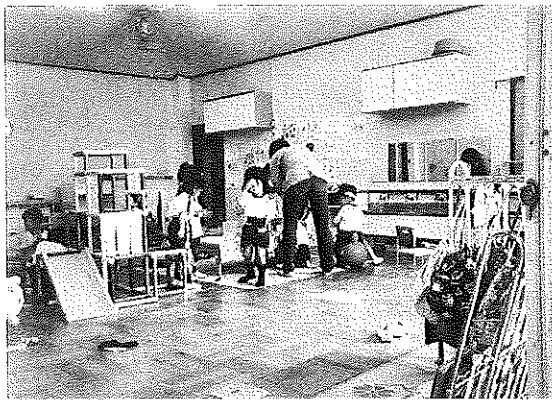


写真5 C子⑭「かわいいから」



写真6 C子⑯「ちょっといい感じかなと思って。高いし」

表3 C子(白組・女兒)の調査1における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	④テラス、砂場周辺 ⑦青組保育室 「自分が青組だったから」
固定遊具	①タワージャングル 「ジャンケンして負けたら一個下がるっていうのがゲームになって面白いから」 ⑬ジャングルジム 「遊ぶとおもしろいから」
遊具	⑫青組絵本棚 「本読むとおもしろい」
製作物	⑫自分が描いた家族の絵 「最後はお部屋だな」「自分の絵撮っていい?」
自然物	⑧自分のトマトの鉢 「Cのトマト撮ろうかな」 ⑪園庭プランターの花 「きれい」 ⑫園庭の木 「こういう木はね、お花じゃないけどね、ちょっといい感じかなと思って。高いし」 ⑫黄組テラスの野菜鉢 「木の鉢集まってる所撮るときれいかなと思って」 ⑫園庭の木 「太い木って丈夫だから、いいから」「ポキッと折れないから」
遊び	②⑤縄跳び ③⑨シャボン玉コーナーの遊び 「シャボン玉作るのが好きだから」 ⑥ログハウス周辺で遊ぶ年中児達 「おもしろそうだった」 ⑭⑮桃組で遊ぶ年少児達 「遊んでるところ撮ろ」「かわいいから」 ⑰桃組で遊ぶ年少児達 「全体を撮ると中の人撮れるから」 ⑲青組製作コーナーの子ども達 「楽しそうだったから」 ⑳サッカーのシュート 「入ったから撮っちゃった」
人	⑩K子(白組) 「大人とかが人のごと撮ったりするから」 ⑯青組にいた2名の子 「一瞬並んだからさ、ちょっと撮りたくなくて」 ⑳附属小体育館に入る児童達 「小学校の人はね、でかいし頭いいから」
その他	⑯桃組壁の花の装飾 「お花がきれいだったから」

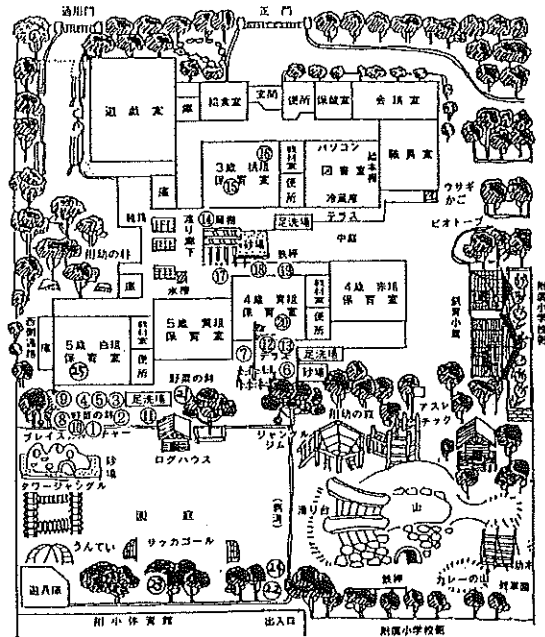


図3 C子(白組・女兒)の調査1における撮影地点

味を持つようである。

【自然物】テラスで育てている野菜のうち、「Cのトマト」(⑧)をアップで撮影した。自分が育てたものへの愛着が窺える。一方、クラス全体の鉢としては、きれいに並んで育ちもよい隣のクラスの鉢を撮った(⑫)。園庭プランターの花(⑩)も撮っているが、それはB男のように虫をイメージしたからでは

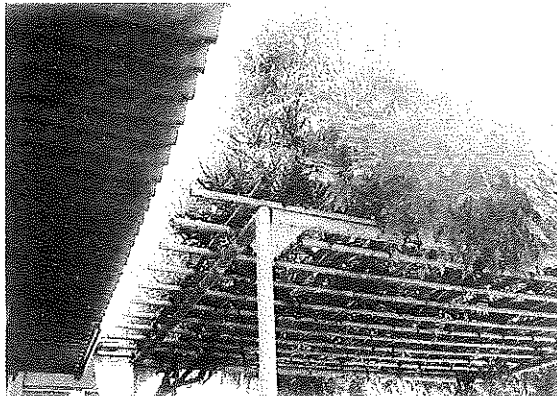


写真7 D男⑤「何かいると思って撮った」

なく「きれい」だからである。また、園庭の木(⑫)については「お花じゃないけどね、ちょっといい感じかなと思って。高いし」と言い(写真6)、「太い木って丈夫だから、いいから」「ポキッと折れないから」(⑬)という木は、よじ登った隣の木から撮影した。身軽に木登りをするC子ならではの表現と言えよう。



写真8 D男⑩「この滑り台とお山。あとこの木もね」

表4 D男(白組・男児)の調査1における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	①①遊戯室 「広いから」 ⑦通用門側 (後の経験と混乱した言及) ⑭砂場周辺 (砂場とかでよく遊ぶの?)「うん」 「川とか」「穴掘ったり」 ⑯園庭のサッカーをする辺り 「サッカーやるところ」
固定遊具	⑩山滑り台と木 「この滑り台とお山。あとこの木もね」 ⑫ログハウス周辺 「あそこら辺だよね」「あ、あの木を撮った」
遊具	
製作物	②⑥附幼の木の巣箱 「小鳥の」「どんなやつがあるかね、撮っといた」 ⑧黄組の木工作品 「き」「作った」「Y男とN男とね、作った」
自然物	③水槽の魚 「金魚撮ろ」 ⑤中庭の藤棚 「何かいると思って撮った」「セミ」「桃組の時にね、夏にね、いたの、ここに」「I匹隠れてた」 ⑨附幼の林の木 「(葉がギザギザの木は) ああいう所にしかないもん」 ⑩附幼の林の木 ⑬西側通路の木 園庭に回る際に撮る。 ⑰白組テラスの野菜の鉢 「どんなのがあるか」 ⑲附幼の森
遊び	
人	
その他	④中庭の parasol 「こういう parasol とか撮った」 ⑫不明 (黄組保育室内) ⑮⑯シャボン玉コーナーの parasol 「parasol、parasol、para parasol」 ⑳園庭上空を飛ぶ飛行機 上空の飛行機に気づき、「飛行機撮っていい?」 ㉑黄組テラスの parasol 「黄組の parasol」

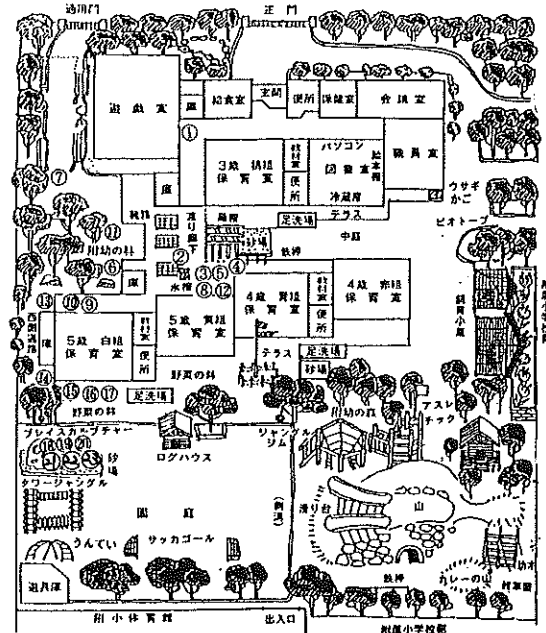


図4 D男(白組・男児)の調査1における撮影地点

(4) D男 (白組・男児、表4・図4参照)

【感覚的な対象選択と言語化の難しさ】撮影しながら動くスピードが速く、感覚的に対象を選んでいる印象を受けた。好きな理由を聞くと「わからない」と困った表情をし、2回目のインタビューでも理由をあまり口にしなかった。写真というものの性格からして言語化できないことがあって当然なのだが、D男にとってはそのような質問に答えることは特に難しかったようだ。

【自然物】 B男が撮影した巣箱をD男も撮った(②⑥)。中庭の藤棚(⑤)は「何かいると思って撮った」と言い、年少の時に隠れていたセミを見つけた経験をもとにしている(写真7)。また、何度も木(⑨⑩⑬⑰⑱)を撮影しているのが特徴的である。

【仲良しの子がいる黄組】 黄組の外の廊下から、保育室内の窓辺にある木工作品(⑧)を撮影した。「Y男とN男と作った」と言う。この子達とは年少の頃から仲がよい。彼らと共に黄組の子達の中で遊ぶことも多く、黄組は白組同様、D男にとって大事な拠点となっているようだ。

【同じ場への意味づけの違い】 園内の遊びの拠点には日よけのパラソルが設置されていたが、いくつかの場でこのパラソルを撮った(④⑬⑯⑳)。中でも、シャボン玉コーナー(⑮⑰)についてはC子も撮影しているのだが、C子は「シャボン玉作るのが好きだから」、D男は「パラソル」を撮ったと答えており、何に目を向けていたかは違っていた。

最後の数枚(⑳～)はA子と同様にプレイスカルプチャーに登り、その上から撮影した(写真8)。上履きだったこともあり、遠くまで撮れる場所を選んだと思われる。

3 調査 2

3-1 方 法

- (1) 対象児 調査1と同じ。
- (2) 調査日 2001年12月1日(土)

調査1から半年が経ち、季節や子どもの遊びだけでなく物的環境にも変化があった。

(3) 調査の手続き

調査1をふまえて手続きを修正し、調査者は担当クラスを入れ替わって実施した。

1) 調査1では対象児へのインタビューを写真撮影時と10日後の2回実施したが、内容にあまり差がなかったため、写真撮影時のみとした。

2) 調査1では対象児の動線にかなりの差があった。日頃の動線を反映している部分もあろうが、撮影開始地点が異なっていたこと、上履きの子と下履きの子がいたことも影響したと考えられる。そのため、どの対象児も保育室付近から調査を開始するようにし、撮影は屋内でも屋外でもよいことを確認しながら実施した。

3) 調査1では白組の調査者が対象児と顔見知りであったこともあり、「まだある」「まだ撮りたい」と残り枚数を見ながら多く撮ってしまったので、撮影枚数を確認しながら実施した。

3-2 結果と考察

各対象児の撮影対象を表5～8に、撮影地点を図5～8にまとめた。

以下、調査1の結果と比べながら述べていく。

(1) A子(黄組・女兒、表5・図5参照)

調査1では最初にまず近くの人を撮ってみたいという感じだったが、今回は撮影で園内を回る中でもやりとりのあった(⑥⑦)親しい友達を最後に撮った(⑫⑬)。

【自然物】 調査1と同様に自然物を多く撮影している。特に紅葉(③)は、「あのもみじ君」「どこが一番きれいかな」とかなり吟味して撮った(写真9)。インコ(②)ポインセチア(④)中庭プランターの花(⑩)は、いずれも「かわいかった」からという。

【クリスマスツリー】 この日は大きなクリスマスツリーが遊戯室に出され、子ども達が飾りつけをした。そのため、何度も遊戯室へ行ってツリーを撮ろうとしては、周りに人が多くてうまく行かないことが繰



写真9 A子③「あのもみじ君」「どこが一番きれいかな」



写真10 B男⑩「ここね、僕の秘密基地」

幼稚園の中で好きなところは？

表5 A子(黄組・女兒)の調査2における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	⑤黄組ままごとコーナー 「ここはおもしろいから」
固定遊具	
遊具	
製作物	①附幼の林の巣箱 「あれ、作ったやつだもん」
自然物	②飼育小屋のインコ 「かわいい」 ③園庭の紅葉 「あの、もみじ君」「どこが一番きれいかな」 ④冷蔵庫上のポインセチアとぬいぐるみ 「これ全体」「かわいかったから」 ⑪中庭プランターの花 「かわいかったから」
遊び	⑥影絵 Y子に「またあのお化けやって」「写真撮ってあげるから」 ⑦影絵 Y子が「今度ドラエもん撮ろう」と言い、「ドラエもん撮ろう」 ⑩B男Yt男(黄組)のキャンプごっこ 「キャンプごっこおもしろそうだった」
人	⑫Yu子(黄組) プレイスカルチャー内のY子に「おーい出てこーい。Yuちゃんだけ撮っちゃおうぞ」 「まあいいやYuちゃんだけ撮っちゃおう」 ⑬Y子とYu子(黄組) 「YちゃんとYuちゃん好き好き同士だー」 (Aちゃんが好きな人ってこと?) 「うん」
その他	⑧黄組のクリスマスツリー 人が多く、遊戯室のツリーがなかなか撮れない。(これなら撮れるんじゃない) ⑨遊戯室のクリスマスツリー 人が多くて躊躇する。(入らない方がいいの?人が)「いいか別に」

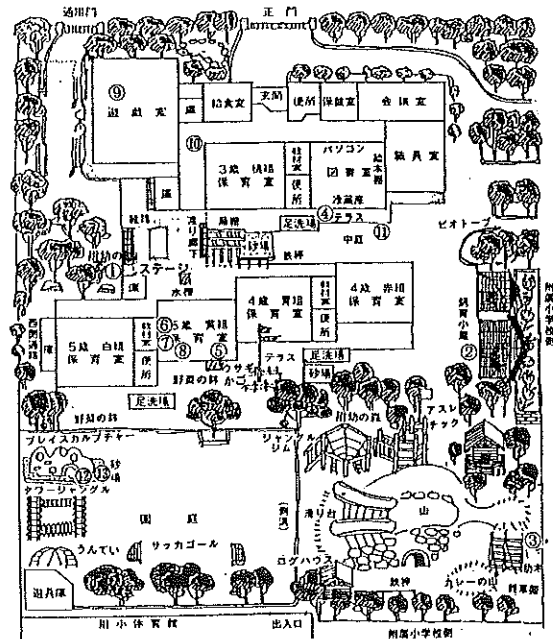


図5 A子(黄組・女兒)の調査2における撮影地点

表6 B男(黄組・男児)の調査2における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	⑨遊戯室の裏の庭 柵内に入り込み撮る。「ここね、僕の秘密基地」
固定遊具	①ジャングルジム 「くもの巣だから」 ②プレイスカルプチャー 「おうちみたいだから」 ③アスレチック遊具のはしご 「はっとりさんって人がね、作ったの」 ④うんてい 「おもしろいから」「手の豆がね、出てくるから」 ⑤園庭の鉄棒 「回ったり、コウモリとかできるから」 ⑥タワージャングル 「はしごがあるから」 ⑦山のトンネル 無言で笑う ⑧山 山を駆け下りて撮る。「走るのが速くなるから」 ⑩肋木 「登ったり降りたりするのが好きだから」
遊具	
製作物	
自然物	⑩ピオトープ 中庭雑草園を撮るのをやめて撮る。「魚がいる」 ⑫カレーの山の土 「固まるから」
遊び	
人	
その他	

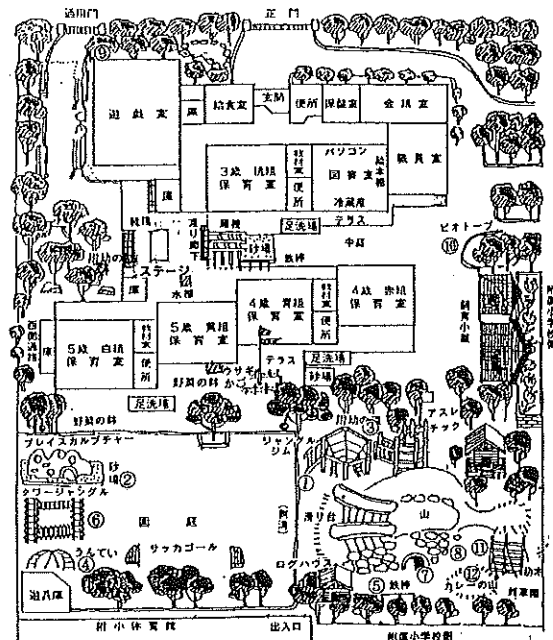


図6 B男(黄組・男児)の調査2における撮影地点

り返された。その後、保育室にも設置されたツリーを撮り(⑧)、飾り付けが一段落してきた頃に遊戯室のツリーを撮った(⑨)。この時にはどうしても撮りたいというA子の思いが窺えたため、結果としては調査者が促す形での撮影となった。

(2) B男(黄組・男児、表6・図6参照)

調査1では中庭とその周辺のみでの撮影であったが、

今回は園内をかなり回って撮影した。

【好きな遊びのできるもの】 それを使った遊びの楽しさへの言及は調査1と同様であったが、今回は園庭の固定遊具を多く撮った(①②③④⑤⑥⑦⑧⑩)。中でも鉄棒は、調査1では中庭で、今回は園庭で撮影したが、理由は「回ったり、コウモリとかができる」と同じであった。

表7 C子(白組・女児)の調査2における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	
固定遊具	①タワージャングル 「楽しいから」「いつも遊ぶ」 ③山滑り台 「滑って遊ぶ」 ⑤うんてい 「いつも遊ぶ」「うんていとかして遊ぶ」 ⑥山滑り台横のログハウス 「葉っぱを集めて石焼き芋にして遊ぶの」 ⑩中庭の鉄棒 「いつも遊ぶ」「前回りとかする」
遊具	
製作物	
自然物	④黄組テラスのウサギ 「かわいいから」 ⑦飼育小屋のインコ 「ウサギとかいるし」「インコが派手だから」
遊び	②フラフープで遊ぶH子(黄組) 「フラフープで遊ぶ」 ⑧桃組保育室で遊ぶ子ども達 「桃組が楽しいから」 ⑨ステージで踊る桃組の年少男児達 「楽しそうだから」
人	
その他	

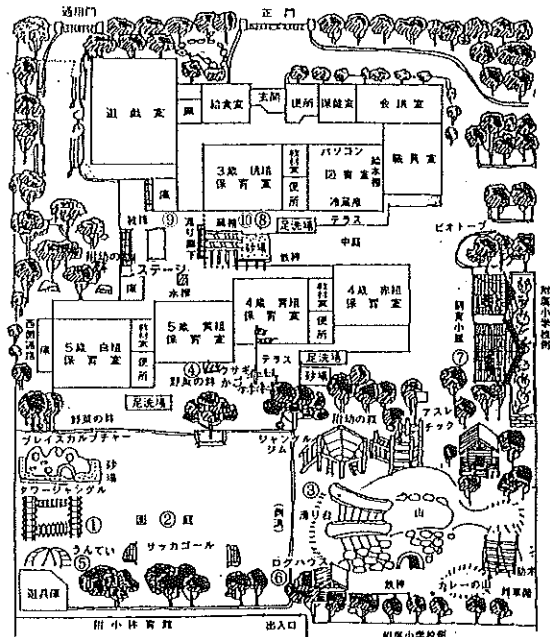


図7 C子(白組・女児)の調査2における撮影地点

表8 D男(白組・男児)の調査2における撮影対象

カテゴリ	撮影対象と理由等
空間	
固定遊具	
遊具	
製作物	⑩積木の家 保育室で他児が作っていた積木の家を撮る。「これを撮った」 ④附幼の林の巣箱 「鳥小屋」 ⑦附幼の林の巣箱 「鳥小屋を撮った」
自然物	②ピオトープ 「池を撮った」 ③附幼の林の木 「木を撮った」「きれいだから」 ⑤西側通路の木 「木を撮った」 ⑥附幼の林の木 「木」
遊び	⑧D男の電車さっこ(白組) 白組廊下でDa男が段ボールの電車で遊んでいるところを撮る。「Da男の電車」 ⑨コマ回し 保育室でYa男に「コマを回せ」と言い、回っているコマを撮る。「コマ」「ペイブレード」
人	
その他	①遊戯室のクリスマスツリー 「クリスマスツリーを撮った」

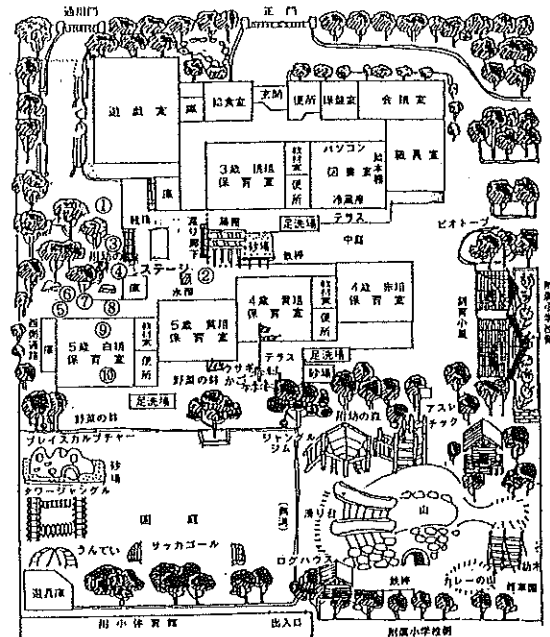


図8 D男(白組・男児)の調査2における撮影地点

幼稚園の中で好きなところは？

【親しい人が作った物】 B男は調査Ⅰでも父親と一緒に作った巣箱を撮影したが、今回は「はっとりさんって人がね、作った」というアスレチックのはしご(③)を撮った。担任によると、2学期にアスレチックを増設した際に様々な方の協力があり、B男の知り合いの方がはしごを作るのに力を貸して下さったという。自分達のために親しい人が作ってくれたこのはしごには、特別の愛着を感じるようだ。

【自然物】 今回は虫がたくさんいる時期ではなかったためか、中庭の雑草園の撮影をしようとしたのをやめて「魚がいる」ピオトープ(⑩)を撮影した。また、子ども達はその土質から「カレーの山」と呼ぶ小さな山を撮った時には「固まるから」(⑫)と言った。側で様子を見ていた同じ黄組の女児達に聞くと、この土は固まりやすい特別な土だという。

【秘密基地】 通用門側から慣れた様子で柵の中に入り、遊戯室裏の庭(⑨)を撮影した。「ここね、僕の秘密基地」と言う。調査ⅠのA子の「内緒の道」と同様、昼間でも木々に囲まれて薄暗い空間であった(写真10)。

(3) C子(白組・女子、表7・図7参照)

【年少児達】 桃組の年少児達(⑧⑨)を撮影しているのは調査Ⅰと同様である。

【好きな遊びのできるもの】 今回は遊んでいる様子よりも「いつも遊ぶ」固定遊具を多く撮った(①③⑤⑥⑩)。タワージャングル(①)は調査Ⅰでも一番に撮影している(写真11)。「葉っぱを集めて石焼き芋にして遊ぶの」というログハウス(⑥)は、2学期にテラス前から落ち葉の多い場所に移されて、新たな遊びの拠点になっていた。

【自然物】 調査Ⅰの頃のように緑豊かな時期ではないためか、植物でなく動物を撮影している。ウサギ(④)は「かわいいから」、インコ(⑦)は「派手だ

から」である。

(4) D男(白組・男児、表8・図8参照)

【自然物】 調査Ⅰの時と同様、附幼の林の木を撮影しているのが特徴的である(③⑥)。「きれいだから」と言う(写真12)。保育室が附幼の林に面しており、日頃から目にする事が多いことも関係しているのだろうが、同じ白組のC子は撮影していない。また、調査Ⅰで「ああいう所にしかない」と言った葉がギザギザした木(⑥)や附幼の林の巣箱について、2回とも撮影したのはD男のみであった。

【好きな遊び】 今回は友達との遊び(⑧)や自分が好きな遊び(⑨)も撮影した。

4 全体的考察

(1) 子どもにとっての園環境

2回の調査を通して対象児が「好きなところ」として共通に撮影したのは自然物であった。そして、プランターの花や木のように同じ対象を撮っていても、その理由は子どもによって違っていた。子どもにとって自然物が大事な環境であること、環境への意味づけは園生活の中で自分なりになされ、子どもによって違うことが改めて確認できた。また、仙田(1995)、藤田(2001)が指摘する登って辺りが見渡せる場や、寺本ら(1995)が指摘する「秘密基地」を「好きなところ」に挙げた子もいた。そして、各対象児で2回の調査結果が違う点には、季節や遊びや物的環境の変化の影響が窺えた。

各対象児に特徴的な「好きなところ」は、A子は様々な動植物、B男は好きな遊びのできるもの、C子は遊びや年少児の様子、D男は木である。また、A子、C子は人そのものを撮ったが、B男、D男は撮ろうとしなかった。この違いは、その対象児の人

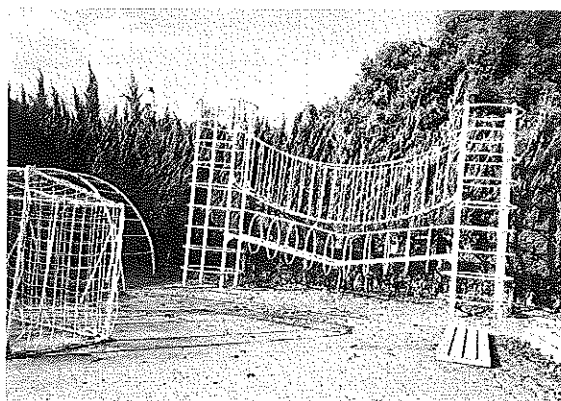


写真11 C子①「楽しいから」「いつも遊ぶ」

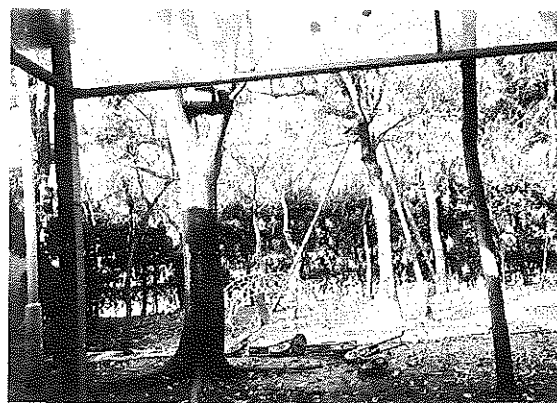


写真12 D男③「きれいだから」

への関心の度合いを反映していると考えられるが、B男、D男も保護者や友だちと作ったもの、親しい人が作ってくれたものを撮るという形で人への親しみは窺え、対象児によって「好きなところ」の受け止め方が違っていたことによる可能性もある。

(2) 子どもによる写真撮影の有効性

今回の調査から、この方法は子どもが園環境の中から対象を選びとる行為を誘発する、それをもとにインタビューしやすい、言語化できないものも含めた手がかりを得られるという点で有効であることが確認された。各対象児に特徴的な結果も得られたことから、その子の園環境についてのとらえのある部分を探ることはできると言えよう。

また、普段の保育観察や子どもとの関わりからは気づきにくいこと、見落としやすいことに目を向けることができる点でも有効だと言える。例えば巣箱は保護者と作って設置したものであるが、毎日の園生活の中では子どもが積極的に関わる対象ではない。しかし、「鳥が来るかも知れない」と期待を持って見上げ眺めるという意味でも大事な物であることが窺えた。藤田(2001)は撮影対象を子どもの行動との関わりから①行動潜在化タイプ②中間的タイプ③行動顕在化タイプの3タイプに分けて分析したが、この方法は①のタイプの園環境についても考える手がかりを与えてくれる。そして、この方法は写真撮影時の子どもを観察すること、保育観察や保育者との話し合いをふまえて子ども達の園生活とも関連させて考察することで、より有効になるということも

確認できた。

以上、有効な点は確認できたが、この方法を取り入れる場合には細心の配慮が必要であることも確認しておきたい。今回の調査は、好きな遊びの時間帯は広い園内のどこでどのような遊びをするのかは基本的に子どもに委ねられている園を対象にし、それまでも園を訪問していた調査者が実施したものである。そのため、対象児と行動を共にしても注目されることは少なかったが、対象児と親しい子の中には「何してるの」「いいな～ちゃんだけ」と様子をじっと見たり、ついて来ようとする子もいた。調査の際には、対象となる園や調査者等に依って具体的な手続きを検討することが必要である。また、今回は敢えて「好きなところ」という表現で対象を限定しなかったようにしたが、そのことが受け止め方の違いを生んだ可能性もあり、教示内容についても検討する必要がある。

(3) 今後の研究の方向性

藤田(2001)は4園で年少から年長までを対象に調査しており、年長になるにつれて撮影対象が多様になることを指摘している。今回は普段の保育の中で無理のない範囲で行うことを第一に考え、同じ園の年長児4名のみを対象にした調査であったが、今後は教示等を再検討し、対象児の年齢の幅や人数を増やして実施したい。そして、保育者による子どもや環境への理解との関連についても検討したいと考えている。

引用文献

- ・藤田大輔 幼稚園における園児の構築環境に対する嗜好評価 日本保育学会第54回大会研究論文集 340-341 2001
- ・野田正彰 漂白される子供たち—その眼に映った都市へ— 情報センター出版局 東京 1988
- ・仙田満 遊びの行動と空間 空間認知の発達研究会編 空間に生きる—空間認知の発達の研究— 151-171 北大路書房 京都 1995
- ・寺本潔・大西宏治 子どもは身近な環境をどう感じているか—手描き地図と写真投影法による知覚環境把握の試み— 愛知教育大学研究報告 第44輯(人文科学編) 101-117 1995

付 記

本研究は、中島が愛知教育大学在職中に山口と共同で実施した調査をもとにしており、下記の口頭発表に加筆・修正したものである。調査に協力して下さった子ども達と先生方に記して感謝申し上げます。

中島寿子・山口雅史 幼稚園の中で好きなところは？—幼児の視点から園環境を考える試み—(その1)(その2) 日本保育学会第55回大会研究論文集 522-525 2002